

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-1-4		事業名	学校・みどりのふれあい推進事業
担当	教育委員会生涯学習部計画課 藤田 211-3832			
全体計画				
事業内容	『札幌市教育推進計画』(平成16年9月策定)で環境教育の推進を挙げている中で、従来、校地整備の一環として行っていた植栽に、環境教育の視点を取り入れ児童生徒の参加と保護者や地域住民との協働により植樹を行う。		<年度別の事業内容>	
			平成20年度は実質的初年度であることから、主に小学校を中心に実施する予定。 【平成20年度】 10校 【平成21年度】 10校 【平成22年度】 10校	
事業内容・量・場所	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	(対角線)		学校生活における環境教育の一環として、児童生徒の参加や保護者及び地域住民との連携により植樹しようとする学校に苗木等の購入費用を配当して植樹を行った。 ・植樹実施校 15校 ・配当総額 1,900千円 ・樹木本数 1,240本(低木、花を含む)	
平成21年度事業内容(予算)			平成22年度事業内容(予算)	
規模・件数等	学校生活における環境教育の一環として、児童生徒の参加や保護者及び地域住民との連携により植樹しようとする学校に苗木等の購入費用を予算配当することにより植樹を行う。 ・植樹実施予定校 13校 ・配当予定総額 2,200千円 ・樹木予定本数 400本(低木を含む)			

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	4-1-4			事業名	学校・みどりのふれあい推進事業					
達成目標の状況										
項目			18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)		
[校庭への]植樹実施校数(累計)			-	-	15校	28校	38校	38校		
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)										
<p>市民との連携、市民参加 保護者や地域住民との連携により植樹をする内容としている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>										
評価(成果)					課題					
<p>植樹活動を通して、子どもたちの「環境」への意識が高まっただけでなく、子どもたち、保護者及び地域と一緒に植樹祭を行い植樹を経験することで、植樹の楽しさや成長の喜びを共有することができたとともに、連帯感を深めることができた。特に実のなる木を植えた学校は、色づいた葉を生活や図工で活用したりしていた。子どもたちがみどりと触れ合うことにより、自然教育・環境教育を推進するきっかけとなった。</p>					<p>雪の降る前に植樹検討ができるように要望時期を考察したい。学校と地域との連携のしくみづくりが課題である。</p>					
今後の事業の予定・方向										
事業計画通り実施予定										

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		4-1-4			事業名	学校・みどりのふれあい推進事業					
事業費の推移											
項目				19年度	20年度	21年度	22年度	計			
計画	事業費			-	-	-	-	-			
	財源内訳	国・道	支出金								
		市	債								
		その他の		他							
予算	事業費			0	1,900	2,200	-	4,100			
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0		0			
		市	債	0	0	0		0			
		その他の		他	0	0	0	0			
実績	事業費			0	1,900	-	-	1,900			
	財源内訳	国・道	支出金	0	0			0			
		市	債	0	0			0			
		その他の		他	0	0		0			
事業費の進捗率				(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)					-		
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)											
(全体)											
[19年度]											
[20年度]											
[21年度]											